



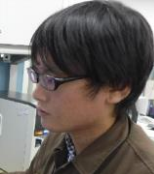



第14回 3次元活用フォーラム「プラント」セッション

2018年5月22日 13:00 - 14:30

Rev.0 2018-03-25

		東芝プラントシステム 株式会社 生産技術グループ 参事	
オーガナイザー		(自己紹介)	(全体動向・セッション主旨など)
	岩田章裕		
		新潟原動機 株式会社 技術センター プラントエンジニアリングG	点群活用における弊社活用の総括と次の取組みへの提案
	福岡 和彦	SPAR-Jでは、2回目のプラントセッションでの事例発表をさせていただきます。 今回は、今までの総括のご報告と次のフェーズへの提案を発表させていただきます。	ハードウェア、ソフトウェア共に木は熟した。 更なる旨みを得るための総括と提案。 ・3次元計測器メーカーが実現したスキャン精度の確立 ・新規参入のソフトウェアが実現した点群編集の変革と編集精度の確立 ・軽量3Dデータが実現した大容量3D CADデータと点群の摺合せ ・CADベンダーが提唱する次世代の簡易型点群編集ソフトの効力 プラントメンテナンスでの3D計測の取組と活用事例
		向陽鉄工 株式会社	
(1)吉田久美子	(2)桜井浩樹	(3)穴澤 匠	(発表概要) (1) 企画部：弊社の3D計測の取組と宮崎大学での研究について (2)延岡事業所：FARO Edge ScanArmをメンテナンスツールとして使用するための精度検証 (3)工事統括部技術グループ：FARO Edge ScanArmを用いたプラントメンテナンスへの活用事例
			
		ベステラ株式会社	
	多田 款	(自己紹介) プラント解体専門のベステラに、解体対象プラントの現状把握・解体シミュレーションを実施する為に3D計測を導入。現在スキャナ5台、専用ワークステーション16台で大規模スキャンングを実施 専門はIoTなど技術分野におけるマーケティング戦略。MBA(経営学修士)	3D点群は、建設・プラント分野では3D-CADの代替データとして利用されているが、自動運転・ロボット分野では環境地図としての活用が進められている。ベステラ株はプラント解体を専らとしており、遠隔操作による解体溶断ロボットを実用化している、今後の解体分野でロボットの自律作業を研究開発課題として産学連携でのプラント解体分野で活用できるロボット開発を進めている。ベステラが考える3次元計

連絡先: スーパーポイントリサーチ
河村 koji@sparj.com 045-482-3073